

分担金・拠出金の名称	国際機関幹部職員増強拠出金	平成28年度 予算額		総合 評価	
拠出先の国際機関名	UN,UNDP,UNICEF等, 主要な国際機関				
国際機関の概要	主に国連関係機関のうち, 規模が大きい, 拠出金が多い等, 特に幹部邦人職員の増強が求められる国際機関 送り込まれた中堅・幹部レベルの日本人は, 各国際機関において, それぞれ専門分野(例:開発, 人道, 難民, 環境等)の意思決定に深く関与をする。				
評価基準		達成状況			
1. 我が国重要外交課題遂行における当該機関等の有用性(意思決定における我が国のプレゼンスを含む)		90年代に活躍した緒方貞子氏の例が示すように, 国際機関で活躍する日本人職員は, 財政的貢献のみならず人的貢献の面でも我が国が国際社会に貢献していることを示す「日本の顔」となる。特に, 国際機関における幹部職員については, 国際機関内の意思決定にも深く関与するとともに, 日本のビジビリティという点においても全世界に組織の顔として発信することから, 多くの日本人が就任することが求められている。 しかしながら, ここ数年, 1980年代に国連関係機関職員となり幹部まで上り詰めた日本人が定年等で離職し, 幹部レベルの日本人職員が減少傾向にある。幹部職員増強は一朝一夕ではなし得ず, 強化に際しては, その候補となる中堅層以上の強化が必須であるところ, 本拠出金により中堅以上の日本人を発掘し, 国際機関に送り込むこと又は幹部職員となるための試験に係る費用を負担することで, 中長期的に幹部レベル層を増強していくことが期待される。なお, 幹部職員に日本人がいることで, その部下として日本人を送り込みやすくなるなど, JPO派遣制度との相乗効果も期待される。			
2. 当該機関等の専門分野における影響力・貢献		本拠出金により国際機関に送り込まれる日本人職員は, それぞれの分野において, 各国際機関の意思決定に深く関与することが想定され, 我が国との橋渡し役としての活躍のみならず世界に向けて我が国のプレゼンス向上に資するものとなる。また, 本拠出金による支援により国連常駐調整官(RC)として送り込まれた日本人については, まさに当該派遣先の国の国連関係機関をとりまとめる立場として, 強い影響力を行使し, 貢献することが見込まれる。			
3. 当該機関等の組織・財政マネジメント					
4. 当該機関等における邦人職員の状況					
5. 我が国拠出の執行管理, PDCAサイクルの確保		本基金においては, 国際機関と協議等を行いつつ以下のとおりPDCAを確保。 ○Plan:①送り込んだ日本人からの意見聴取, ②国際機関との協議, ③在外公館からの情報収集, ④ポストの特定, ⑤効果が高いと思われる広報手段・対象の特定 ○Do:①派遣先選定・派遣, ②本省・在外公館による指導・支援, ③正規ポスト採用への働きかけ, ④広報を通じた人材の発掘 ○Check:①活動報告の内容分析, ②国際機関から提出される財務報告書の確認, ③採用・不採用の原因分析(派遣先の妥当性, 指導・支援体制等), ④広報効果の評価 ○Act:①派遣先国際機関・派遣ポストの見直し, ②指導・支援体制の見直し(本省・在外公館), ③広報手段・対象の見直し			
担当課・室名	総合外交政策局 国連企画調整課 国際機関人事センター				